

## 令和5年度 年度始め部課長への訓示

今日から、新年度のスタートとなります。

毎年のことですが、新しい体制となりましたので、新たな気持ちで職務に精励してもらいたいと思います。

部課長の皆さんには、それぞれが与えられた役割をしっかりと果たしてもらいたいと思っておりますが、懸案事項は、部局をまたがることも多く、役場全体で情報を共有しながら、お互いに問題意識を持つよう心掛けてください。

さて、コロナ対応は落ち着いてきましたが、行政課題は山積しています。

人口減少、子育て支援、担い手不足、DX、GXなどは、どこの自治体でも共通した課題です。先進事例などを研究することは大事だと思いますが、マネするだけでは上手くいきません。地域によって実情は違いますから、カスタマイズは必要になってくるはずです。知恵を絞って効果的な施策を考えていきましょう。

一方で、原子力政策のように、本村独自の課題もあります。その対応は、まさにオリジナリティが求められますし、大きなチャレンジと言えるかもしれません。したがって、担当課だけの仕事と考えることなく、役場全体で一緒になって取り組んでまいりましょう。特に、原子力防災は、役場の重要な使命の一つであることを改めて、皆さんには認識してもらいたいと思います。

そして、もう一つ、皆さんに伝えたいことがあります。全庁的な共通ルールの見直しです。

ここ2年間で、BPRを着実に推進してきたところですが、個別業務については、引き続き取組みを継続していくことが大事です。一方で、財務や文書管理、グループウェアの使い方など、業務遂行上の基本的な仕事のルールも改善が必要であることは、皆さんも感じているのではないのでしょうか？役場業務における最も大切な根拠規定ではありますが、デジタル化も含め時代に合わない規定であれば、躊躇なく見直す勇気を持って変えていきましょう。それが、ひいては、生産性を高め、働き方を変え、新しい役場への転換に繋がっていくものと確信していますので、しっかりと取り組んでまいりましょう。

私は、以前から、役場職員は優秀で真面目だと申し上げていますが、頑張りすぎて、心身が疲れ果ててしまうケースも見受けられます。まずは、部課長の皆さんの声かけが大事ですので、部内や課内でのコミュニケーションをしっかりと取りながら、職員をフォローしていただくようお願いいたします。

今年度も、大きな成果を出せるよう皆さんの活躍を大いに期待しています。